



2016年12月22日

デジタル式ベルト上送りを採用した世界初のマシン
セミドライヘッド・シリンダーベッド型片面飾り偏平縫いマシン(デジタル式上送り/ヘム縫い仕様)
「MF-7900DRH24シリーズ」を新発売



JUKIは上下送り機構の内、上側の送りにベルトを取り付けることにより、生地送りを安定させ、さらに送り量を記憶できる世界初のマシン「セミドライヘッド・シリンダーベッド型片面飾り偏平縫いマシン(デジタル式上送り/ヘム縫い仕様)MF-7900DRH24シリーズ」を、海外は12月より、国内は2017年1月5日から発売します。

MF-7900DRH24シリーズは、スポーツウェアやアンダーウェアなど、ニット生地の袖口や裾などを縫製(ヘム縫い)するためのマシンです。

ニット生地は伸縮性があるため、生地が針の前後でふらつき、縫い不良が発生することがあります。特に、新素材生地は、新開発の繊維や織りが駆使されているため、縫製が難しい生地になります。

当機は世界で初めて、上送り機構の押さえにベルトを採用しました。ベルトが生地をしっかり掴み、伸縮に応じた最適な送りを実現するため、縫い目が安定し、品質が大きく向上します。また、ベルト式上送りは、従来の押さえに比べ、生地へのあたりがソフトなため、薄い生地や黒い生地などの傷やテカリを防ぎます。

さらに、当機は上送り量を数値化し、パネルに記憶させることができるため、生地に応じた理想的な縫い目の再現ができ、段取り時間を削減することができます。

当社は、今後も新素材生地をはじめ、ニット生地の縫製力を高め、スポーツウェア、アンダーウェアなど、ニット製品を生産されるお客様のサポートを行ってまいります。また、お客様工場の生産性向上、省人化、脱技能化、働き易さ、品質向上などの課題を解決し、最適な工場作りをお手伝いさせていただく「JUKI Smart Solutions」のご提案を進めてまいります。

◆特長

(1) 新素材に対応した縫い品質の向上

①ベルトを活用した上送り機構を搭載

伸縮性の強い新素材で起こりやすい生地のおねじれ、イサリ、地の目の斜行や段部の縫いづまりを防ぎ、縫い品質が安定します。

②フラットでソフトな縫い目

左右の針糸繰り出しが均等になり、カマボコ形状の縫い目を防ぎ、フラットでソフトな縫い目になります。

(2) 縫製品の縫い傷を解消

デジタル式上送り機構により生地がスムーズに送られ、直進性が良く生地のおねじれがありません。

差動上下送り機構に比べ、薄い素材でも傷やアタリを付けることがありません。

(3) 作業性・操作性を向上

①上送りのデジタル設定

上送りのデジタル設定は、パネルとジョグダイヤルで簡単にでき、縫製段部の乗越え性も優れています。

(上送り量の調整ができ、5パターンまで記憶できます)

②段取り時間の削減

上送りのデジタル設定により、縫製品が変わっても縫い調整が簡単にでき、段取り時間を削減することができます。

◆発売日

海外: 2016年12月

国内: 2017年1月5日

◆希望小売価格【国内】完成品(消費税抜き)

セミドライヘッド・シリンダーベッド型片面飾り偏平縫いミシン(デジタル式上送り/ヘム縫い仕様<左カメス付き>)

MF-7912DRH24/UT56/MC37(2本針片面飾り縫い) 1,318,000円

MF-7913DRH24/UT56/MC37(3本針片面飾り縫い) 1,318,000円

■当リリースに関する問合せ先

JUKI株式会社 縫製機器ユニット 営業推進部

濱田 良彦

TEL:042-357-2377

JUKI株式会社 総務部 総務・広報グループ

林 桐子

TEL:042-357-2398